



湧永製薬の選手のダイナミックなジャンプシュート

日本トップレベルのプレーを堪能

日本ハンドボールリーグ

9月26日、日本ハンドボールリーグの湧永製薬対北陸電力がきびアリーナで行われ、約2000人の観衆が、迫力ある攻防や華麗なシュートなど、日本トップレベルのプレーを堪能しました。

リーグ第4週目の試合。試合は、前・後半を通じて、点の取り合いとなり一進一退の展開。地力に勝る湧永製薬が、ゴールキーパーのフィンセーブや速攻で終盤突き放し、24対21で勝利しました。

命の大切さを伝えたい

親子で交通安全教室

レーシングライダーの山口辰也さんが取り組んでいる「親子で交通安全教室」が、総社北幼稚園で開かれ、危険を予測しながら行動することを親子で学びました。

園児や保護者約130人が参加。山口さんは、自身で考案した教材「山口辰也の交通安全キット」を使って、まちなかに潜む危険を教えました。そして、「命の大切さを知ってほしい」と、参加者に訴えました。



交通安全キットを使って、まちなかの危険箇所を学ぶ園児ら(写真上)。教材を手に解説する山口辰也さん(写真下)



ミニフォト

タンチョウ写生画の表彰



賞状と記念品を受け取る受賞者

吉備タンチョウの会は10月3日、小学生以下の子どもから募集したタンチョウの写生画の表彰式を昭和公民館で開催しました。約250点の応募があり、審査の結果24作品が入選。入選者に賞状と記念品が手渡されました。

外国人との架け橋になって



熱心に受講する参加者

全5回の日本語教室ボランティア育成入門研修が9月18日、スタート。外国人に日本語を指導するボランティアを育成する講座で、主婦ら11人が受講。この日は日本語を教えるうえでの心構えを学びました。

秋の夜に、調べを楽しむ



大正琴の演奏

中秋の名月を前に観月会が9月18日、吉備路もてなしの館で開かれました。備中国分寺五重塔もライトアップされたなか、訪れた人たちは琴や大正琴、オカリナの調べに耳を傾けながら、秋の夜のひと時を楽しんでいました。

体育の日にスポーツの秋を満喫



グラウンドゴルフを楽しむ

体育の日の10月11日、市民総合スポーツ祭が市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場など7会場で開かれました。約1200人が、ソフトバレーボールやテニス、サッカー、陸上競技など15種目で、汗を流していました。

墨彩画に見入る



雪舟大賞に見入る人たち

第8回雪舟の里総社墨彩画公募展の入選作品展が10月2日から9日間、サンロード吉備路で開かれました。雪舟大賞の「枯蓮」をはじめ、入選作品55点を展示。訪れた人は、足を止め一点一点熱心に見て回っていました。

そばまつりが楽しみ



畑一面に咲くソバの白い花

9月下旬、原地区で白いソバの花が咲き誇っていました。原営農組合が約1ha栽培。そば粉にして約600kgの収穫が見込まれ、12月12日、水内河原で開く「そばまつり」で、このそば粉で打ったそばを楽しんでもらうそうです。



書道を楽しむ

日本の文化を学ぶ

オーストラリアのホームステイ

オーストラリアのメルボルンの中高生11人が来総。9月18日から25日までの8日間、市内の家庭にホームステイしながら、総社西中学校で授業を受けたり、生徒やホストファミリーと交流したりし、日本の生活や文化について学びました。

滞在中、中高生はホームステイ先から同中学校に通学。9月22日には書道を体験し、「情熱」「勇氣」「真心」「大志」「大成」の字に挑戦しました。

サンバのリズムで打楽器を体験



いろいろな打楽器をたたく

「サンバワークショップ 打楽器はおもしろい！」が9月19日、清音公民館で開かれました。約90人が参加。打楽器の演奏方法やサンバのステップを練習した後、サンバ隊を組んで、同公民館周辺を練り歩きました。

働くことの大切さを学ぶ



市役所を見学する子ども

9月21日、子どもが親の勤務先を訪問し参観する「そうじゃ☆子ども参観日」が、市役所で行われました。市職員の子どもの含む小学1年から4年までの31人が参加。職員から仕事の話の聞いたり、市役所を見学したりしました。

がん検診を受診してもらおう



協定書に署名・押印する3者

吉備信用金庫とアフラック、市の3者は10月7日、「がん啓発・がん検診受診率向上」に向けた包括的連携に関する協定を調印。がん検診の受診率向上に向け3者は今後、啓発活動や検診日程の周知などに取り組んでいきます。